

Fukushima Innovation Coast Framework

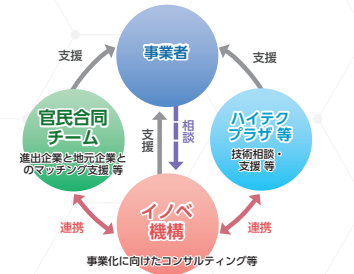
# ふくしま「浜通り」から未来へ! 福島県の復興に向けての取組

公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構  
公益社団法人 福島相双復興推進機構(官民合同チーム)  
福島ロボットテストフィールド  
福島県ハイテクプラザ南相馬技術支援センター

- 福島イノベーション・コースト構想推進機構（イノベ機構）は、本構想推進の中核的な機関として、平成 29 年 7 月 25 日に福島県が設立した法人です。
- 福島復興再生特別措置法に基づく「重点推進計画」においても、イノベ機構を本構想推進の主要な実施主体として位置付け、国家プロジェクトである本構想の具体化を進めています。
- イノベ機構の主な取組は、以下のとおり。

## 産業集積・ ビジネスマッチング

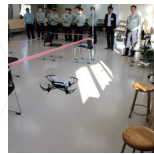
- ・ 浜通り地域等への企業誘致
- ・ 進出企業と地元企業とのマッチング
- ・ イノベ構想関連開発の事業化支援
- ・ 民間企業等の農業参入支援



ふくしまみらいビジネス交流会

## 教育・人材育成

- ・ 高等学校等での産業界及び研究機関等と連携した教育の実施支援
- ・ 市町村と連携した大学等の教育・研究活動支援



小高産業技術高校におけるドローンを活用した実習

## 交流人口の拡大

- ・ 浜通り地域等の各拠点への来訪者呼び込み
- ・ 交流人口の拡大に向けた交通環境の改善



現地見学ツアー

## 情報発信

- ・ 県民等への構想の分かりやすい情報発信
- ・ 県外からの呼び込みに向けた構想の魅力を発信



シンポジウム

## 拠点施設の管理運営

- ・ 福島ロボットテストフィールドおよび東日本大震災・原子力災害伝承館の運営受託



東日本大震災・原子力災害伝承館

## 公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構

〒 960-8043 福島県福島市中町 1 - 19 中町ビル 6 階

TEL : (024) 581-6894 (代表)

URL : <http://www.fipo.or.jp>

福島イノベ

検索



## イノベ機構と官民合同チームの連携による取組

福島イノベーション・コースト構想の更なる推進のため、イノベ機構と官民合同チームが連携することで、域内外の企業が一体となった産業集積を促進し、地域経済の発展につなげていきます。

- イノベ機構は進出企業・域外企業の窓口機能を発揮し、官民合同チームは個別訪問により蓄積した地元事業者の情報を活用し、地元企業に寄り添ったハンズオン支援を行います。
- 専門性の高い実用化開発プロジェクトの事業化についてはイノベ機構が地元企業を支援し、進出企業が課題を抱えている人材確保については官民合同チームが支援します。



連携協定締結式 (平成 30 年 10 月 3 日)

# 福島相双復興推進機構 (官民合同チーム)

- 官民合同チームは、被災された事業者（※注）を個別訪問し相談型の支援を行うため、国、福島県、民間の構成により、平成 27 年 8 月 24 日に創設された組織です。
- 被災事業者を訪問し、専門家によるコンサルティングや、国の支援策等を通じ、事業再開や自立の支援を行います。（訪問件数：約 5,400 者）（令和 2 年 2 月時点）
- 平成 29 年 4 月からは農業者の個別訪問を実施し、営農再開に向けた支援活動を行っております。（訪問件数：約 1,900 者）（令和 2 年 2 月時点）
- 官民合同チームの主な取組は以下のとおり。

※注：被災 12 市町村（田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村及び飯館村）が対象

## 事業・なりわいの再生支援

事業再開意向のある事業者や廃業する事業者、まち機能の回復に資する震災後創業者に対する支援を行います。

- ・ 専門家によるコンサルタント支援
- ・ 人材確保支援
- ・ 販路開拓支援
- ・ 生活設計・事業承継支援

## まちづくり支援

被災事業者が帰還し事業再開しやすい環境を整備するべく、まちづくり専門家等による自治体のまちづくりの面的支援を行います。

- ・ まちづくり会社や商業施設等の設立・運営支援
- ・ 観光・交流人口拡大支援
- ・ 物流配送課題等、生活・事業環境整備支援

## 営農再開の支援

営農再開意向のある農業者が、継続的に農業を行っていくための支援や風評被害の払拭を目指して支援を行います。

- ・ 個別訪問を通じた経営・技術支援
- ・ 農地集約や大規模化の加速化支援
- ・ 風評被害対策及び販路開拓支援
- ・ 地域状況に応じた耕畜連携などの支援

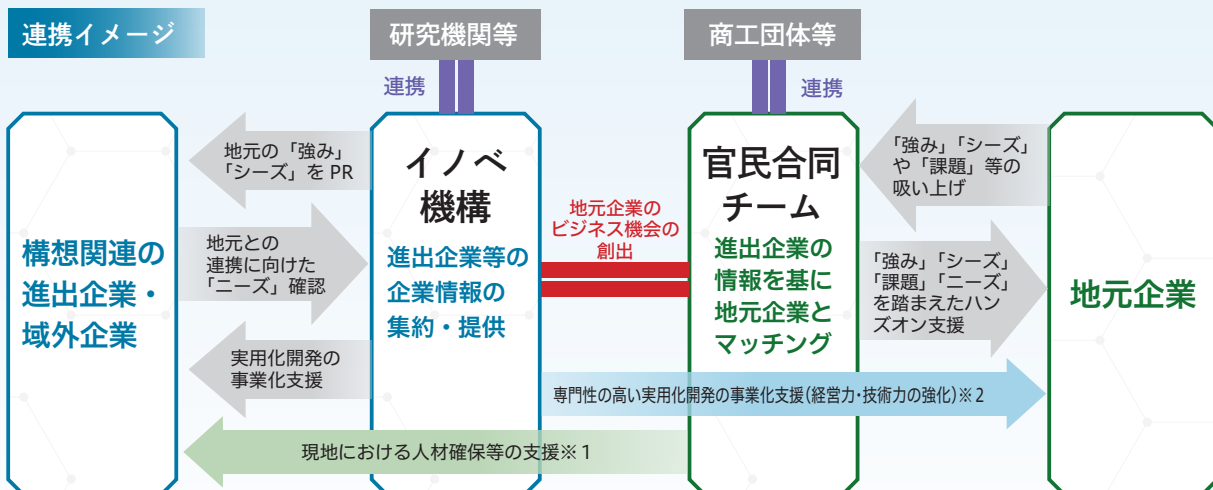
## 外部人材・資本の呼び込みと新しい地域づくり

人口が減少していることから、域外から人・資本などを呼び込み、地域経済に新たな波及効果をもたらすことを目指します。

- ・ 福島イノベーション・コースト構想の推進と地元事業者の関与支援
- ・ 交流人口増加に繋がる情報発信支援
- ・ 外部からの人材呼び込みと創業支援

## 公益社団法人 福島相双復興推進機構 (福島相双復興官民合同チーム)

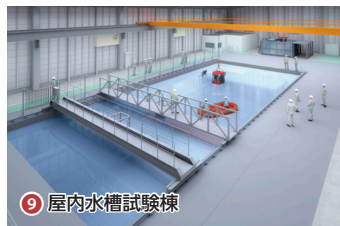
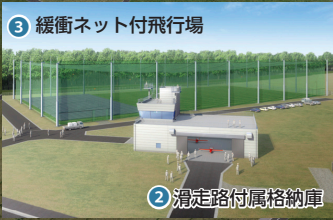
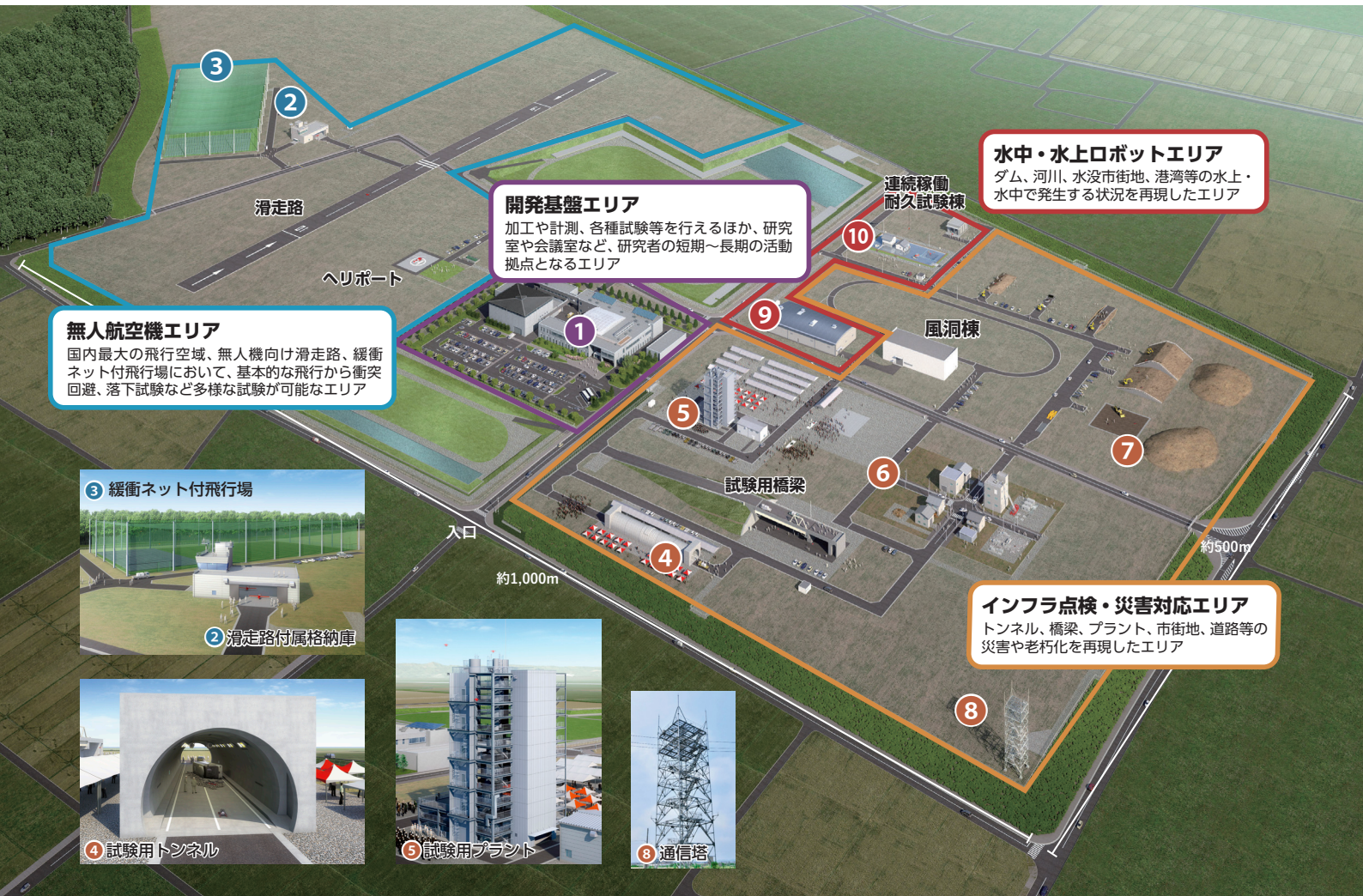
〒 960-8031 福島県福島市栄町 6-6 NBF ユニックスビル 4 階  
 TEL：(024) 502-1115 (代表) URL：https://www.fsrt.jp  
 MAIL：kanmin\_seizou@fsr.or.jp  
 (企画グループ 製造業担当宛て)



※1 進出企業等の人材確保ニーズの収集・提供を行うなど、イノベ機構も協力

※2 実用化開発プロジェクトの開始に向けた経営支援、技術支援、補助金申請支援を行うなど、官民合同チームも協力

# 福島ロボットテストフィールド



「福島ロボットテストフィールド」は、物流、インフラ点検、大規模災害などに活用が期待される無人航空機、災害対応ロボット、自動運転ロボット、水中探査ロボットといった陸・海・空のフィールドロボットを主対象に、実際の使用環境を拠点内で再現しながら研究開発、実証試験、性能評価、操縦訓練を行うことができる、世界に類を見ない一大研究開発拠点です。本拠点は、南相馬市・復興工業団地内の東西約1,000m、南北約500mの敷地内に「無人航空機エリア」、「インフラ点検・災害対応エリア」、「水中・水上ロボットエリア」、「開発基盤エリア」を設けるとともに、浪江町・棚塩産業団地内に長距離飛行試験のための滑走路を整備しており、2020年3月末全面開所いたします。



## 研究棟 左ページのマップ①参照

福島ロボットテストフィールドの本館としての機能を持ち、各試験の準備、加工・計測に加えて、ロボットの性能評価のための風、雨、防水、防塵、霧、水圧、温湿度、振動、電波に対する試験を行うことができます。また、研究者の短期～長期の活動拠点としての利用、事務所の開設、大規模な会議・展示会の開催も可能です。さらに、棟内に併設する福島県ハイテクプラザ南相馬技術支援センターにより、設備の利用支援やロボット技術等の技術相談、開発支援等を行います。



## 研究室入居者(五十音順)

事業者名	本社所在地	研究開発対象	事業者名	本社所在地	研究開発対象
会津大学	福島県会津若松市	災害対応ロボット	(株)テラ・ラボ	愛知県春日井市	固定翼ドローン
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所	東京都三鷹市	航空機位置探知システム	(株)デンソー	愛知県刈谷市	橋梁点検ドローン
特定非営利活動法人国際レスキューシステム研究機構	兵庫県神戸市	インフラ・災害対応ロボット競技手法	東北大学未来科学技術共同研究センター	宮城県仙台市	自動走行、EV
(株)人機一体	滋賀県草津市	建設機械ロボット	一般社団法人ふくしま総合災害対応訓練機構	福島県南相馬市	総合災害対応訓練、災害対応ロボットの実用化
新明工業(株)	愛知県豊田市	災害対応ロボット車両	富士コンピュータ(株)	兵庫県加古川市	ロボット向けAI
(株)SkyDrive	東京都新宿区	空飛ぶクルマ	(株)プロドローン	愛知県名古屋	大型ドローン
(株)タジマモーターコーポレーション	東京都中野区	自動走行、EV	ロボコム・アンド・エフエイコム(株)	東京都港区	ロボットシステムパッケージ
テラ・アビエーション(株)	東京都文京区	空飛ぶクルマ	(株)ロボデックス	神奈川県横浜市	水素燃料電池ドローン

## 福島県ハイテクプラザ 南相馬技術支援センター

ハイテクプラザでは、各種事業を展開しながら相双地域を中心に工業振興を図っています。また、研究棟付属設備の利用支援を行っています。



ハイテクプラザの  
主な事業

### 技術相談

・新規開発、不良原因解明などの相談

### 新製品・新技術開発支援

・企業に伺い、状況調査・技術的助言  
・現場での技術的支援  
・新規開発の支援

### 依頼試験

・依頼を受け試験・測定後に成績書を発行

### 受託研究・共同研究

・企業からの研究案件を実施  
・企業と共同で研究を実施

### 試作

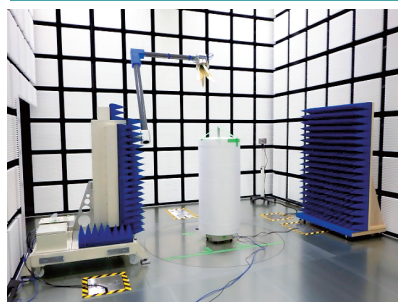
・部品等の試作

### 設備使用

・研究棟付属設備の貸出(利用支援)

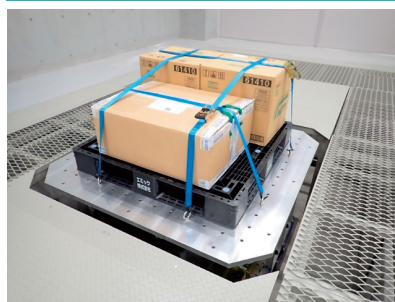
## ハイテクプラザが利用支援する研究棟付属設備の例

### 電波暗室とOTA評価試験システム



電波暗室は30MHzから18GHzまでの測定が可能です。OTA評価試験システムは無線通信関係の各種試験が可能となっており、日本では唯一の開放されたシステムとして利用できます。

### 二軸切替振動試験機



垂直方向と水平方向の二軸を切り替えて振動試験をすることが可能です。段取替えが減り、効率よく試験ができます。県内の開放された振動試験機では加振力、搭載重量とも最大です。

設備機器等や使用料は、福島ロボットテストフィールドのホームページをご覧ください。

